

DXに関するITアーキテクト動向調査 調査票

■ ご回答にあたって ■

【調査の目的】

情報サービス業がDXを進めるにあたってアーキテクトが現在担っている役割、及び、今後担うべき役割を把握するためです。

【調査の対象】

会員企業のエンジニア

- ・ JISA会員企業に所属する、ITプロジェクト(開発・保守・運用)に関わるエンジニアの方を対象とします。

【回答要領】

- ・ ご回答には約10分程度のお時間をいただきます。
- ・ ご回答は、回答者個人としてのお立場からご記入ください。所属企業を代表してご回答いただく必要はありません。
- ・ ご回答が難しい設問は無回答のまま、次の設問へお進みください。(回答必須の設問もあります)

【調査実施期間】

2021年2月24日(水) から 2021年3月24日(水)

※調査実施期間を過ぎて回答することはできません。実施期間内でのご回答をお願いします。

【問い合わせ先】

本件に関しまして、ご不明な点ご質問等ございましたら、下記までE-Mailでお問い合わせいただきたく、お願い申し上げます。

お問い合わせ専用E-mail : itaresearch@jisa.or.jp

【調査票全文】

こちらからダウンロード出来ます。回答はwebページよりお願いします。

https://www.jisa.or.jp/Portals/0/resource/ita/ita_questionnaire.pdf

I. アンケートデータ集計・分析のために、ご回答者のプロフィール情報をお伺いいたします。

※印は必須回答の項目となります。

【I-1】 御社の従業員数 ※

あなたの所属する会社規模（従業員数）を教えてください。

- 1. 50 人以下
- 2. 51 人～100 人
- 3. 101 人～200 人
- 4. 201 人～300 人
- 5. 301 人～500 人
- 6. 501 人～1,000 人
- 7. 1,001 人～2,000 人
- 8. 2,001 人以上

【I-2】 御社の事業規模 ※

あなたの所属する会社規模（単独売上高）を教えてください。

- 1. 5 億円以下
- 2. 5 億円超～10 億円
- 3. 10 億円超～20 億円
- 4. 20 億円超～50 億円
- 5. 50 億円超～100 億円
- 6. 100 億円超～300 億円
- 7. 300 億円超～500 億円
- 8. 500 億円以上

【I-3】 役職 ※

あなたの役職を教えてください。

- 1. 役員・経営者
- 2. 部長（相当）
- 3. 課長（相当）
- 4. 主任・係長（相当）
- 5. 担当

【I-4】 情報サービス産業での経験年数 ※

情報サービスに関する業務に就いている年数をご記入ください。

年

【I-5】担当職種 ※

あなたの情報サービスにおける職種について当てはまるものを選択してください。選択肢の前の（ ）の中に○をご記入ください。（複数選択可）

- () 1. コンサルタント
- () 2. ITアーキテクト
- () 3. プロジェクトマネジメント
- () 4. ITスペシャリスト
- () 5. アプリケーションスペシャリスト
- () 6. ソフトウェア開発
- () 7. ITサービスマネジメント
- () 8. プロデューサー
- () 9. ビジネスデザイナー
- () 10. データサイエンティスト
- () 11. UXデザイナー
- () 12. その他 ()

1. コンサルタント	顧客の経営戦略やビジネス戦略及びIT戦略策定へのコンサルティング、提言、助言の実施を通じて、顧客のビジネス戦略やビジョンの実現、課題解決に貢献し、IT投資の経営判断を支援する。
2. ITアーキテクト	ビジネス及びIT上の課題を分析し、ソリューションを構成する情報システム化要件として再構成する。ハードウェア、ソフトウェア関連技術を活用し、顧客のビジネス戦略を実現するためにITアーキテクチャを設計する。
3. プロジェクトマネジメント	プロジェクトの提案、立上げ、計画、実行、監視コントロール、終結を実施し、計画された納入物、サービスと、その要求品質、コスト、納期に責任を持つ。
4. ITスペシャリスト	顧客の環境に最適なシステム基盤の設計、構築、導入を実施する。
5. アプリケーションスペシャリスト	業務上の課題解決に係わるアプリケーションの設計、開発、構築、導入、テスト及び保守を実施する。
6. ソフトウェア開発	市場に受け入れられるソフトウェア製品の企画、仕様決定、設計、開発を実施する。
7. ITサービスマネジメント	サービスレベルの維持、向上を図るためにシステム稼動情報の収集と分析を実施し、システム基盤管理も含めた運用管理を行う。
8. プロデューサー	DXやデジタルビジネスの実現を主導する
9. ビジネスデザイナー	DXやデジタルビジネスの企画・立案・推進などを行う
10. データサイエンティスト	DXに関するデジタル技術やデータ解析に精通する
11. UXデザイナー	DXやデジタルビジネスに関するシステムのユーザー向けデザインを行う

Ⅱ．あなたが関わった直近の開発および保守運用プロジェクトについてお伺いします。

【Ⅱ-1】役割 ※

あなたのプロジェクトでの役割を教えてください

- 1. プロジェクト責任者
- 2. プロジェクトリーダー/サブリーダー
- 3. グループ(チーム)リーダー/サブリーダー
- 4. チームメンバ
- 5. その他()

【Ⅱ-2】関与する代表的プロジェクトの実施形態 ※

当該プロジェクトの実施形態について教えてください。

- 1. 自社サービス開発(内製)
- 2. 自社サービス開発(外販)
- 3. グループ企業向けシステム開発、運用(情報子会社等)
- 4. 受託開発(元請け/一次請け)
- 5. 受託開発(元請け以外/一次請け以外)
- 6. その他()

【Ⅱ-3】関与する代表的プロジェクトの工期について ※

当該プロジェクトにおいて、自社と契約主との契約形態について教えてください。

- 1. 自社サービス開発のため契約主がない(企画型)
- 2. 請負
- 3. 準委任/SES
- 4. 派遣
- 5. 歩合/出来高/レベニューシェア
- 6. その他()

【Ⅱ-4】関与する代表的プロジェクトの開発形態について ※

当該プロジェクトの開発形態について教えてください。

- 1. アジャイル
- 2. ウォーターフォール
- 3. その他()

【Ⅱ-5】 関与する代表的プロジェクトの人材構成について ※

当該プロジェクトの人材構成について教えてください。

	十分に いる	なんとか なっている	不足して いる	わからな い	必要ない
(1) 技術力の高い人材	()	()	()	()	()
(2) コミュニケーション力の高い人材	()	()	()	()	()
(3) マネジメント力の高い人材	()	()	()	()	()
(4) 業務に精通した人材	()	()	()	()	()

【Ⅱ-6】 関与する代表的プロジェクトに対して強い影響力を持つ人材について ※

当該プロジェクト内で物事の判断に最も【影響力のある方（社内外問わず）】についてお聞きします。

(1) その方の考え方について教えてください。

	1. ある	2. 多少あ る	3. どちら ともい えない	4. あま りない	5. ない	6. わから ない
(a) HowよりWhat/Whyを重視する	()	()	()	()	()	()
(b) 既存のルールより自分の倫理観・価値観に従う	()	()	()	()	()	()
(c) 量より質を求める	()	()	()	()	()	()
(d) 複数の組織を渡り歩いている	()	()	()	()	()	()
(e) 好奇心で動く	()	()	()	()	()	()
(f) 計画より実行を重視する	()	()	()	()	()	()
(g) 独占せず共有する	()	()	()	()	()	()
(h) 傾聴、共感する	()	()	()	()	()	()
(i) 実績や経験よりも新たな学習を重視する	()	()	()	()	()	()
(j) 肩書、立場に関係なくフラットに行動する	()	()	()	()	()	()

(2) その方の保有するスキルについて教えてください。 ※

	1. ある	2. 多少ある	3. どちらともいえない	4. あまりない	5. ない	6. わからない
(a) アーキテクチャ設計	()	()	()	()	()	()
(b) 設計技法	()	()	()	()	()	()
(c) 標準化と再利用	()	()	()	()	()	()
(d) コンサルティング技法の活用	()	()	()	()	()	()
(e) 知的資産管理活用	()	()	()	()	()	()
(f) テクノロジ	()	()	()	()	()	()
(g) インダストリ (ビジネス)	()	()	()	()	()	()
(h) プロジェクトマネジメント	()	()	()	()	()	()
(i) リーダーシップ (テクニカル)	()	()	()	()	()	()
(j) コミュニケーション	()	()	()	()	()	()
(k) ネゴシエーション	()	()	()	()	()	()
(l) サービス開発手法	()	()	()	()	()	()

【説明】

(a) アーキテクチャ設計	要件の分析・定義から設計指針を導き出し、課題分析や評価を行うスキル
(b) 設計技法	データモデリングから、アプリケーション、インフラストラクチャまでの設計を行うスキル
(c) 標準化と再利用	開発標準を定義し、既存資産の再利用・新規再利用資産の開発を行うスキル
(d) コンサルティング技法の活用	分析ツールやモデルに関する技術を持ち、コンサルティング活用を行うスキル
(e) 知的資産管理活用	各所に点在する知的資産を統合管理し、活用するスキル
(f) テクノロジ	IT業界動向や技術動向、各種標準を的確に把握し、実際の案件に適用するスキル
(g) インダストリ (ビジネス)	関連する業界の動向、その業界 (分野) のアプリケーションを把握し、関連業界 (ビジネス) 標準を理解して、実際の案件に適用するスキル
(h) プロジェクトマネジメント	プロジェクトのスコープ (範囲)・スケジュール・お金・品質・要員・リスク・調達などをマネジメントするスキル、およびそれらを統合してマネジメントするスキル
(i) リーダーシップ (テクニカル)	技術分野に関する知見を生かして、目的達成に関係者を導くことのできるスキル
(j) コミュニケーション	利害関係者と意思疎通し、情報を収集・整理・周知するスキル
(k) ネゴシエーション	利害関係者と交渉し、合意を形成するスキル
(l) サービス開発手法	デザイン思考やリーンスタートアップ等、サービスを生み出すプロセスに関するスキル

【Ⅱ-7】DXプロジェクトの成功要因について

あなたが思う、DXプロジェクトを成功に導くために必要な要素についてお聞きします。

(1) DXプロジェクトを成功に導くために、今後【あなたが強化したい】項目について、あてはまるものを最大3つ選択してください。

- 1. HowよりWhat/Whyを重視する
- 2. 既存のルールより自分の倫理観・価値観に従う
- 3. 量より質を求める
- 4. 複数の組織を渡り歩いている
- 5. 好奇心で動く
- 6. 計画より実行を重視する
- 7. 独占せず共有する
- 8. 傾聴、共感する
- 9. 実績や経験よりも新たな学習を重視する
- 10. 肩書、立場に関係なくフラットに行動する

(2) DXプロジェクトを成功に導くために、今後【あなたが強化したい】保有スキルについて、あてはまるものを最大3つ選択してください。

- 1. アーキテクチャ設計
- 2. 設計技法
- 3. 標準化と再利用
- 4. コンサルティング技法の活用
- 5. 知的資産管理活用
- 6. テクノロジ
- 7. インダストリ（ビジネス）
- 8. プロジェクトマネジメント
- 9. リーダーシップ（テクニカル）
- 10. コミュニケーション
- 11. ネゴシエーション
- 12. サービス開発手法

Ⅲ. プロジェクトとDXとの関わりについてお伺いします。

※DXとは、ここでは以下のように定義します。

「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」

【Ⅲ-1】 関与する代表的プロジェクトとDXとの関係 ※

「2.プロジェクト情報」で回答した直近のプロジェクト（以降、当該プロジェクト）は、DXに関連したプロジェクトですか

- () 1. はい
- () 2. いいえ
- () 3. わからない

【Ⅲ-2】 DXの貢献度合について ※

プロジェクトの【実態として】、当該プロジェクトが及ぼすシステムや利用者への貢献度合いについて教えてください。

	1. そう思う	2. ややそう思う	3. どちらともいえない	4. あまりそう思わない	5. そう思わない	6. わからない
(a) システムや製品の利用者の生産性が大幅に向上した／しそうだ	()	()	()	()	()	()
(b) システムや製品の利用者のコストが大幅に減少した／しそうだ	()	()	()	()	()	()
(c) サービスや製品の付加価値が大幅に向上した／しそうだ	()	()	()	()	()	()
(d) 企業文化や組織マインドが変化した／しそうだ	()	()	()	()	()	()
(e) 企業のビジネスモデルが変化した／しそうだ	()	()	()	()	()	()
(f) 新たなサービスや製品が生まれた／生まれる	()	()	()	()	()	()
(g) 新たな人・モノ・ビジネス同士が繋がった／繋がりそうだ	()	()	()	()	()	()
(h) 社会課題の解決に寄与した／しそうだ	()	()	()	()	()	()

【Ⅲ-3】 活用デジタル技術について ※

当該プロジェクトで利用しているデジタル技術を教えてください。(複数可)

- 1. クラウド (IaaS)
- 2. クラウド (PaaS)
- 3. クラウド (SaaS)
- 4. マルチクラウド
- 5. ビッグデータ
- 6. AI・機械学習
- 7. エッジコンピューティング
- 8. フォグコンピューティング
- 9. IoT (ドローン含む)
- 10. RPA
- 11. ブロックチェーン
- 12. 5G
- 13. スマホアプリ
- 14. xR(VR/AR/MR)
- 15. 開発自動化・省力化 (自動生成・NoCode/LowCode)
- 16. テスト自動化
- 17. CI/CD
- 18. 量子コンピューティング
- 19. その他 ()

【Ⅲ-4】 今後のDXプロジェクトに貢献する、注目技術要素について ※

現在、又は今後のDXプロジェクトに貢献するために、あなたが注目する技術要素を教えてください。
(最大3つまで)

- 1. クラウド (IaaS)
- 2. クラウド (PaaS)
- 3. クラウド (SaaS)
- 4. マルチクラウド
- 5. ビッグデータ
- 6. AI・機械学習
- 7. エッジコンピューティング
- 8. フォグコンピューティング
- 9. IoT (ドローン含む)
- 10. RPA
- 11. ブロックチェーン
- 12. 5G
- 13. スマホアプリ
- 14. xR(VR/AR/MR)
- 15. 開発自動化・省力化 (自動生成・NoCode/LowCode)
- 16. テスト自動化
- 17. CI/CD
- 18. 量子コンピューティング
- 19. その他 ()

IV. 御社の DX に関する状況についてお伺いします。

【IV-1】 DX 専任組織について ※

企業内に DX 専任のための組織はありますか。

- 1. ある
- 2. ない
- 3. わからない

【IV-2】 DX 専任組織と IT アーキテクトについて

「ある」を選択した場合、その組織に IT アーキテクトはいますか。

- 1. 十分にいる
- 2. いるが不足している
- 3. いない
- 4. わからない

【IV-3】 DX 用のプロセスについて

DX のプロジェクトを実施する上で、今までのプロセス（開発プロセスだけでなく、決裁プロセス等も含む）と異なるプロセスはありますか。

- 1. 分かれている
- 2. 分かれていない
- 3. わからない

【IV-4】 DX 用のプロセスについて

「分かれている」を選択した場合、DX と今までで異なるプロセスはどのプロセスですか。

- 1. 企画プロセス
- 2. 提案プロセス
- 3. 受注・決裁プロセス
- 4. 開発プロセス
- 5. 品質管理プロセス
- 6. 保守プロセス
- 7. 運用プロセス
- 8. その他 ()

【IV-5】 最後に、DX 実践のために用いている方法論、手法は何がありますでしょうか。

()

IT アーキテクトと DX に関する調査の詳細分析レポートのデータ送付を希望する場合は、以下にメールアドレスをご記入ください。

Mail : _____@_____

ご協力ありがとうございました。